

「本での派遣事業は端緒に
りだが、問題は日本企業
ンマーと聞いただけで躊躇
が優秀で性格も素晴らしい
つてみたり、雇用してみ
ていただけるのだが...」
マーという国の理解を広
げる。



日本での抱負を語る派遣1期生

きな戦力になる。建設業
IT業界や製造業への
ている」と、先を見てい
る。

半11月、提携しているヤ
ス、ミヤンマー海軍大の
学生、それぞれ10人に月
金を実施し、現地で話題
経済なし、MJTへの拘
それも同社がNPO・
マー交流会の20年の民間
基盤にしているからだ。
びでなく、技術者も不足
設業界。MJTの、ミヤ
ンマー派遣業にもっと注目
を。」

森組の取り組み

男女問わず「人財」を。20
12年から女性技術者の採用を開始
した森組。女性も男性もともに働き
やすい職場環境を目指しているが、
働いている女性たちはどのように感
じているのか。同社で働く若手技術
者の熊本桂子さん、武田祥子さん、
仲智美さん、人事グループ担当部
長として人事採用に携わっている則
永泰子さんに話を聞いた。



左から熊本さん、武田さん、
仲さん、則永さん

作業着には不満も...

リフォーム事業本部大阪工部部
仲智美さん

建築事業本部大阪建築部
武田祥子さん

森組・清水建設・シタ JV 阪急
淡路連立工事第5工区工事事務所
熊本桂子さん
「現場も今の職場もすごく楽し
い。熊本さんと同期の仲さんは、マ
ンションや商業施設の現場を経て、
現在は本社リフォーム事業本部に在
籍。耐震改修や大規模改修関連のプ
ロジェクト支援業務に携わってい
る。」

男女問わず「人財」採用

現場見学会で作業服は会社の勳章
ファッショントレー
ゼネコンなどに勤務する女
性職員が中心となって構成す
る「ゼネコン女性交流会」の
9回目となる交流会が東京都
千代田区のと（仮称）新鉄鋼ビ
ル建設計画（仮称）新鉄鋼ビ
ル建設計画の施工を担当す
る現場見学会のほか、各社の作
業着の特徴や性能を発表する
「ゼネコンファッションショ
ー」などが行われた。交流会
は年に2回開催しており、参
加各社が持ち回りで幹事を務
める。今回は（仮称）新鉄鋼ビ
ル建設計画の施工を担当す
ている大成建設が担当した。
現場見学会には約110人が
参加し、建て替え計画の概要
説明を受けた後、4グループ



ゼネコン女性交流会

平成27年5月12日
建設通信新聞

る。「現場で得た知識やつながりが、
今の仕事に生きていることが大きな
財産」と話す。
大学で住環境デザインを専攻して
いたという武田さんは、入社2年目
「体を動かすことのできる仕事に就
きたかった」と建設業を志望した理
由を説明する。ことし2月まで大阪
・吹田市内の分譲マンション建設現
場に従事。初めての現場にもまった
ちと物怖じすることなく「職人さんた
ちと名前前で呼び合えるフレンドリー
な関係を築くことができた」と笑顔
で語る。

仕事その... へきなやりがい
を感じている。人。職場や会
社に対して、両がないのか尋
ねると、やりがいがあつたのが「作
業着」。仲智美さんは「作業着を
てほしい」と言っており武田さんも
さす「タサ... さん
も「もとも... さん
初部長職... 藍部
長として新... 藍部
る。「入社前は友だちの... 藍部
全然知らなかった。でも何でも言え
るフレンドリーな雰囲気があったか
ら、こまめに働き続けることができ
た」と自らのキャリアを振り返る。
女性技術者の採用については、「女
性を意図的に増やそうというのでは
なく、男女を問わず会社の宝となる
「人財」を採用したい」とのこと。
そつでない、この業界はこれから
盛り立っていく」と狙いを説明
する。

建設業で働く後輩たちに向けて
「頑張りすぎないように、頑張り
ほしい」とアドバイス。前向きな気
持ちは失うことなく、楽しむつもり
でこつこつ続けてほしいと願ってい
る。

に分かれてオフィス部分の免
震層や東京駅と大手町駅を結
ぶ地下通路部分などを中心に
見学した。

「作業服は会社の勳章、私
のアイデンティティ」と願
う武田さんは「ファッションショーでは
各社の女性職員がモデルとな
って自社の作業着を紹介。こ
こ数年で作業着のデザイン見
直しや、女性向けサイズの導
入などに取り組んだ企業も多
く、参加者からは「自社の作
業着について改めて知ること
ができた」「作業着の見直し
を進めており、各社の特徴が
今後の検討の参考になる」な
どの声が上がっていた。

CIC日本建設情報センターが解説する
施工管理技士の
⑤ 受験対策

実地試験は何を問う試験なのか？

今回より1級・2級施工管理技士試験の2次試験
である、実地試験について2回に分けて解説してい
く。初めて施工管理技士試験を受験する方は実地試
験がどのようなものかをつかんでもらいたい。また、
受験経験がある方にも役立つ情報を提供していきた
い。

学科が広い知識量を問う試験とすれば、実地は実
務経験をベースにした現場の知識を問う試験であ
る。学科試験は四択択一問題であり、解答さえすれ
ば運よく正解になることもある。しかし、実地試験

は記述式のため、記入したら偶然正解するというこ
とはない。したがって、学科試験とは異なることを
認識する必要がある。

合格基準は60%と公表されており、内容は施工経
験記述と施工管理法に関する記述の大きく2つに分
類することができる。ここで初めて施工経験記述と
いう問題を耳にした方も多いのではないか。

この経験記述は施工管理技士試験を象徴する特殊
な問題であり、施工経験記述の攻略なくして実地試
験の合格はないと言っても過言ではない。また、公
表はされていないが経験記述で一定以上得点をしな
ければ、その他の記述は採点すらされないという考

えが一般的である。

では、施工経験記述とは何か。それは、今後、施
工管理技士として仕事を遂行するにあたり報告書を
提出することも多くなる。その書類を作成すること
ができるか否かを試す問題が経験記述である。

実際に答えは一般論ではなく本人が実際に現場で
経験した工事名、発注者名、工事場所などの記載欄
があり、事前の対策なしに合格基準の答案を作成す
ることは極めて難しい。したがって、事前に出題が

予測される答案を複数用意する必要がある。

CICの講習会に参加する受験生もその特殊性か
ら独学では不安のため参加したという受験生が多
い。参考書だけでは不安と感じる方は講習会の参加
することをおすすめしたい。なお、経験記述の作成
に関しては試験問題に答えるのではなく、業務上の
報告書を書くつもりで対策に臨んだ方が書きやすい
だろう。

例えば取引先の企業に報告書の提出または営業の
提案資料を作成する場合、大変でもより良い資料を
作ろうとはせずである。そのつもりで施工経験記述も
作成すれば、必ず合格レベルの答案ができるはずで
ある。

(CIC日本建設情報センター 鮎川 洋介)

経験記述の攻略なしに実地の合格なし